

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008広第20号	
事故等種類	ウェイクボーダー負傷	
発生日時	平成20年8月24日（日） 12時00分ごろ	
発生場所	香川県小豆島町家浦港中央一文字防波堤灯台から真方位208° 2,200m付近 (概位 北緯34° 28.4′ 東経134° 02.9′)	
事故等調査の経過	平成20年10月1日、本事故の調査を広島地方海難審判理事所から引き継ぎ、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>モーターボート Astraea、長さ5.96m 232-34857岡山、弥生機工株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	負傷者1人(左下腿7針縫合)	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は香川県土庄町豊島沖において、ウェイクボードを引いて遊走中、ウェイクボーダー(ボードの乗員)交替のため、海中のウェイクボーダーを本船に引き揚げるため、ウェイクボーダーにロープを投げ、これを引き寄せていたところ、機関が後進に入ったままプロペラが回転しており、平成20年8月24日12時00分ごろ、ウェイクボーダーがプロペラに巻き込まれて、負傷をした。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、視界 良好</p> <p>海象：波高 平穏</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、ウェイクボーダーをロープで船尾に引き寄せる際、機関が後進になっていることに気付かなかったため、同ボーダーがプロペラに巻き込まれたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、豊島沖において海中のウェイクボーダーをロープで船尾に引き寄せる作業中、機関が後進になっていることに気付かなかったため、ウェイクボーダーがプロペラに巻き込まれたことにより発生したものと考えられる。	